

# 中田かわら版 8月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

■この人に会いたい<18>



講演会で挨拶する飯島さん

いいじま たけあき

パワフルな飯島 猛旦さん (75 歳) ひがしが丘

中田連合自治会経営委員会からの推薦で 2 年前に飯島さんと共に、中田地区代表で区長諮問会議の泉区地域協議会委員を引き受け、一緒に仕事をしていなければ、こんなにパワフルで活動的な素晴らしい方とお話しする機会がありませんでした。現在は、地域協議会委員と平成 10 年からの民生児童委員、平成 22 年から中田地区社会福祉協議会会長として幅広く、精力的に活動されています。

今までも、町内会長歴任。30 年来の夢であった町内会館建設に向けて建設委員長として会館を完成、更に近隣の小学校の PTA 会長など地域活動に貢献されました。

趣味も多彩で文化、スポーツと手掛けられ、特に油絵・俳句・陶芸・篆刻、また 20 代から始めた盆栽は 50 年間続き当時の松も今では幹の太さが 10 センチ程になり、18 号の長角鉢に何とか納まる程に成長。

スポーツでは若い頃は 3,000m 級の登山、テニス、バドミントンで汗を流し、ゴルフも定年まで励み、スコア 100 を切るのが目標でしたが、達成ならず、現在資金難で止めているそうです。

温厚で、物静かな人の何処にこんなパワフルで素晴らしい活動の源があるかが不思議でしたが、ご本人のお話しを聞いている内に次第に分かってきました。

出身が群馬県前橋市、つまり上州の空っ風と利根川の水で産湯をつかった生粋の上州っ子。あの国定忠治の義理人情の DNA を受け継ぎ気候と正義感の強い人間性を育てた風土を思えば納得がいきます。

昭和 40 年に当時の戸塚区東原に居を構え、当時の長後街道は民家もまばらで、300m 先の自家も遠望出来たそうです。

夏には道に雑草が膝ほど生い茂り、酒・味噌・しょう油などを売る何でも屋「萬屋」さんの車の轆を踏みながらの通勤と伺いました。今の発展をみると隔世の感があります。

当時の不便な生活や環境体験を生かしての改良と現代社会が抱える福祉と少子高齢化について社会福祉協議会会長として地域の発展に長年貢献され、今もって辣腕を振るわれている精力的で聡明な飯島さんは正に地域に於いて最も必要とされている第一人者ではと、痛切に感じました。



チャリティー ほうずき・あさがお市 (7 月 4 日)

今後も、飯島さんが中田地域で元気に活躍される事を祈念しつつご紹介の筆を下ろさせていただきます。

(編集委員 佐々木弘美)

～一人ひとりが CO<sub>2</sub> を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

# 9月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

## 【平成 27 年度敬老会】

日程 9月21日(月)祝日  
式典 12:30~13:00  
演芸 13:00~14:30  
場所 中田小学校体育館  
対象 満75歳以上の方  
内容 中田中学校PTAコーラス  
舞踊・民謡  
中田中学校吹奏楽部の演奏

## 【中田御霊神社例大祭】

▶本年は東方面の神輿渡御になります。

参道は露店などでにぎわいます。

日時:9月27日(日)10:00 例大祭式 11:45 宮出し式 12:00  
神輿出発(雨天決行、但し山車曳は中止) 18:00 宮入り。

<< 神輿渡御順路の概略と御旅所は次のようになります >>

神社→東中田小学校西側・富士見ヶ丘住宅・郷境道→第一御旅所・白百合公園 12:40 頃到着→長後街道を東進・山神社入口信号右折・鯉ヶ久保→第二御旅所・葛野小学校 13:50 頃到着→南町第一公園・Aコープ前・中田小西門・中田小南門→第三御旅所・中田小学校 15:30 頃到着→中田小西門前・丸の内公園・中西信号右折・旧八百仲商店左折→第五御旅所・中田寺駐車場 17:00 頃到着→宮の前公園・神社宮入 18:00 頃到着予定。



## 【第 47 回ウェルネスいずみ講演会】

< テーマ > 「お味噌の楽しさ 365 日」  
日時 : 平成 27 年 9 月 14 日 (月)  
午後 2 時~4 時  
ところ : 踊場地域ケアプラザ 3 階  
参加費 : 300 円 (資料代含む。当日徴収)  
講師 : みそソムリエ・藤本智子さん  
(ミソガール第 1 号)

味噌は日本古来の食文化の最たるもの。藤本さんは味噌のすばらしい効用を全国的に展開、「味噌 de キレイ」を目指しているキャンペーンガール。美味しく、人を幸せにする味噌の魅力をたっぷりと聞かせてくれます。

<プロフィール>

藤本智子(ふじもと・ともこ)1985年生まれ。横浜市在住。アパレル販売員、読者モデル、ファッション雑貨店マネージャーを経て2011年11月ミソガールとして「365日味噌活」宣言。2014年「ジャパン味噌プレス」を創刊(月間15万部)。イベント、メディア出演などさまざまな方法で日本伝統の食文化「味噌」の素晴らしさを紹介している。ミラノ万博では日本館サポーターに就任。



\*「みそまる」とは味噌にだしと具材を混ぜて、丸めて団子にしたもの。お湯を注ぐだけで、いつでも本格的な味噌汁ができる。(写真左) (編集委員 宮田貞夫)



「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。[www.odoriba-cp.jp](http://www.odoriba-cp.jp)へアクセス!!